

令和 5 年 10 月  
神戸市簡易プロポーザル  
企 画 書

業務名称	(仮称) 王子動物園新獣舎他整備工事基本設計業務
------	--------------------------

担当課	建築住宅局建築課・設備課・技術管理課
-----	--------------------

# 目 次

1 プロジェクトの概要

2 プロジェクトの視点

3 敷地の状況

4 付近見取図

5 敷地状況図

6 敷地周辺現況写真

## 1 プロジェクトの概要

項目	内 容			
予定敷地	神戸市灘区王子町3丁目1			
用途地域	第2種住居地域	防火地域	準防火地域	
高度地区	第5種高度地区	その他地域・地区	王子公園、宅地造成工事規制区域 東部山麓住宅景観ガイドライン	
敷地面積	約8万m <sup>2</sup> (整備エリア 約1.2万m <sup>2</sup> )		容積率	建ぺい率
			200%	60%※別途都市公園法による規制あり
構造規模	カバ・シマウマ舎他：RC造平屋建程度 キリン舎、爬虫類館：RC造2階建程度 他		延べ面積	合計約2,375m <sup>2</sup>
施設内容・ 必要諸室	<b>【計画施設】</b>			
	<b>◆獣舎</b>			
	獣舎名	構造規模	延べ面積	概要
	キリン舎	平屋（一部2階）程度	約500m <sup>2</sup>	屋外運動場1600m <sup>2</sup> +パドック500m <sup>2</sup> 、屋内展示、寝室（大1、小4）、産室、サバンナエリアの監視室 <参考>現飼育頭数 4頭
	シマウマ舎	平屋程度	約50m <sup>2</sup>	屋外運動場740m <sup>2</sup> 、隔離舎（2頭用） <参考>現飼育頭数 2頭
	シタツンガ舎・カンムリヅル舎	平屋程度	各約50m <sup>2</sup>	屋外運動場400m <sup>2</sup> 、インフルエンザ予防用ネット（常時）、シタツンガ隔離舎（2頭用）、カンムリヅル隔離舎（屋根付き、トリインフルエンザ対策で6か月程度隔離非展示期間あり）
	カバ舎	平屋程度	約500m <sup>2</sup>	屋外放飼場3箇所（放飼場大260m <sup>2</sup> +7' -ル190m <sup>2</sup> （350m <sup>3</sup> ）×1、放飼場小130m <sup>2</sup> +7' -ル80m <sup>2</sup> （150m <sup>3</sup> ）×2） 屋内展示場4箇所（放飼場大85m <sup>2</sup> +7' -ル45m <sup>2</sup> （30m <sup>3</sup> ）×1、放飼場小60m <sup>2</sup> +7' -ル30m <sup>2</sup> （20m <sup>3</sup> ）×3） <参考>現飼育頭数 2頭
	爬虫類館	2階程度	約1,200m <sup>2</sup>	（1階）展示場150m <sup>2</sup> 程（部屋10室（4~25m <sup>2</sup> ）、小窓型（1~2m <sup>2</sup> ）15室、屋外展示スペース20m <sup>2</sup> ×2付き）、調理場、バックヤード（約150m <sup>2</sup> ）、トイレ、休憩屋根スペース（50m <sup>2</sup> ） （2階）飼育室（100m <sup>2</sup> ）、機械室（100m <sup>2</sup> ）、バックヤード（100m <sup>2</sup> ）、会議室（150m <sup>2</sup> ）
	<b>◆冷房付き餌倉庫・青草用冷蔵庫（サバンナエリア用） 平屋 各1棟 計25m<sup>2</sup>程度</b>			
	設備：冷房・除湿設備（カビの発生を抑制）			
	<b>◆給排水設備：工業用水（原水貯水槽、ポンプ、ろ過設備、浄水貯水槽、消毒設備必要）、各獣舎必要設備</b>			
	<b>◆電気設備：キュービクル新設、電線の地中埋設化、各獣舎に動物毎の監視カメラ</b>			
	<b>◆外構工事：園路（日常作業に使用する重機等通行箇所は車道仕様とする）、植栽帯、北園動物引越し用走路</b>			
設計業務	基本設計（配置・平面計画、立面計画、造成・外構・植栽計画等）			
	その他個別業務（透視図作成、工事ステップ及び仮設計画、土質調査一式）			
	(参考) 本業務に含まれない後業務の予定 ・実施設計（建築・設備設計全般、屋外付帯工事含む） ・個別設計（各種申請等、既存獣舎（太陽の動物舎）解体撤去設計業務）			
設計期間	約5ヶ月（令和6年2月～令和6年6月（予定））			
委託上限額	約42,400千円（税抜）		工事期間（予定）	約24ヶ月
			総工事費（予定）	約23億円（税抜）
地域の特徴 周辺の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>王子公園という都市公園内にある。</li> <li>敷地南側に幅員27m、西側に幅員12mの道路に接道している。</li> <li>王子公園再整備基本方針（令和4年12月）に基づき再整備基本計画を検討中。</li> </ul>			

## 2 プロジェクトの視点

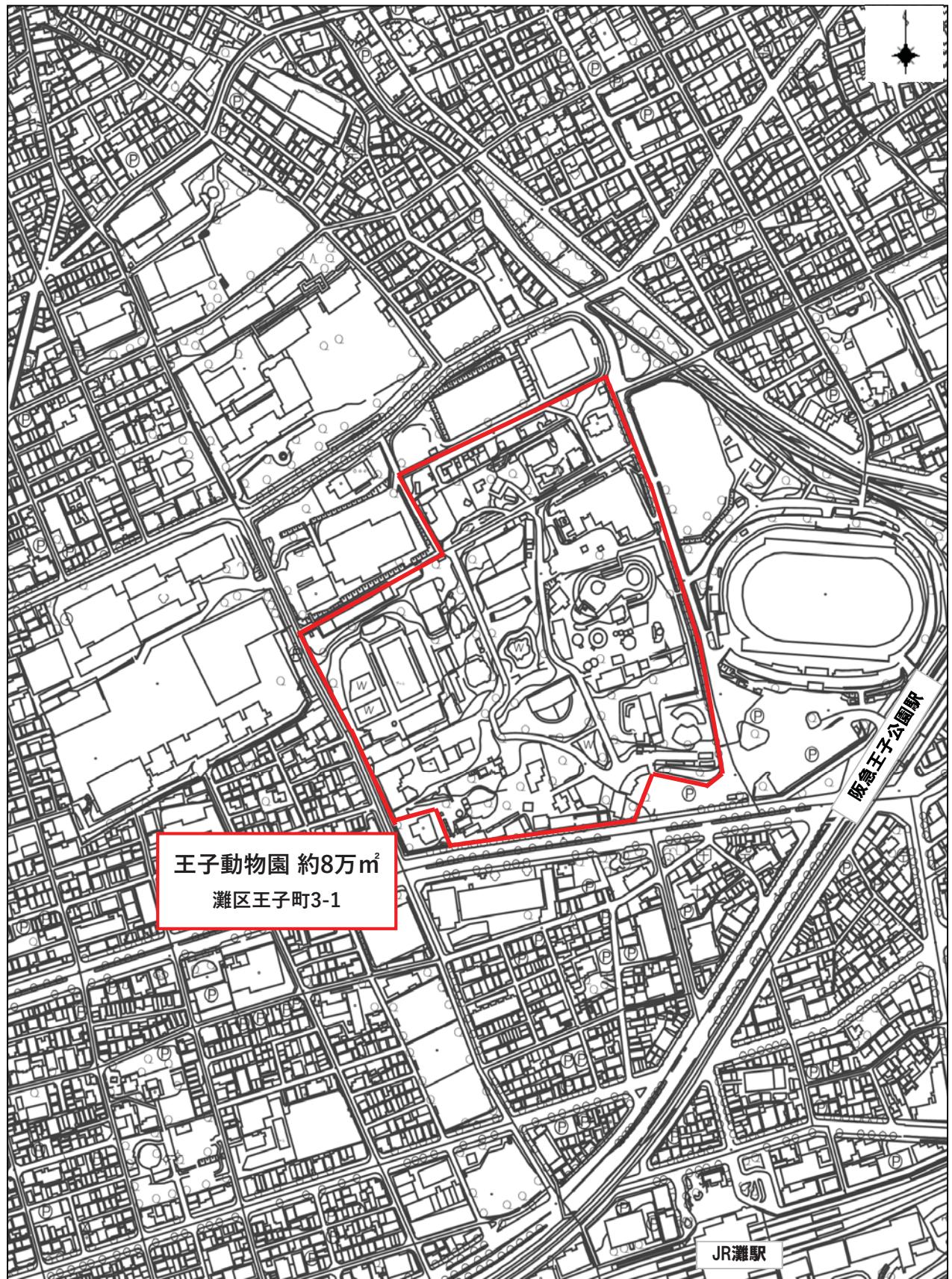
項目	内 容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>王子動物園は昭和26年（1951年）3月に開園して以来、神戸市民とともに70年以上の歴史を積み重ね親しまれてきた。経年による獣舎等の老朽化に加え、利用者ニーズの多様化、技術の進歩など社会情勢の変化に対応するため、施設更新が必要不可欠である。</li> <li>王子動物園の理念・コンセプト「六甲の豊かな緑を感じ、動物と人がいきいきと過ごしながら、世界につながる動物園」のもと、これからも長く多くの人に愛される動物園を目指し、リニューアル工事を進めていく。</li> <li>本プロジェクトではサバンナエリアの新獣舎建設他整備工事を行う。</li> </ul>
提案にあたつて留意する事項	<p><b>動物への配慮</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物ファーストの視点に立ち、動物がいきいきとその動物らしく暮らせ、肉体的・精神的により健康で心地よく過ごすことができる獣舎・運動場の計画とする。</li> <li>動物種ごとの特性等に応じて、飼育環境の向上に寄与し動物本来のいきいきした姿を引き出す展示計画とする。</li> </ul> <p><b>施設利用者への配慮</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物との出会いを様々な楽しみめるような演出や工夫を凝らした観察動線・視点場の計画とする。</li> <li>来園者の快適性を確保するため、ストレスのない利用者のアクセス・観覧通路の計画とする。</li> <li>動物の生態・生息環境などを学べる展示（サイン・展示手法）を取り入れること。</li> </ul> <p><b>管理者への配慮</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の安全を妨げることなく管理がしやすい管理動線計画とする。</li> <li>持続可能な動物園運営とするため、施設（獣舎・インフラ・外構他）の維持管理コスト低減、修繕工事のしやすさに配慮する。</li> </ul>
デザインする・景観上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>王子公園全体の景観・修景計画を踏まえながら、王子動物園のよりいっそうの魅力向上に資する景観づくりに努める。</li> <li>獣舎設計は動物の特性に応じ、観客、飼育員、動物の安全面に配慮する。</li> <li>既存樹木や動物園周辺の樹木等を踏まえ、六甲山の麓にある原田の森にふさわしい植栽計画とする。</li> <li>動物種・ゾーンごとの生息環境の創出に配慮したデザインとする。</li> <li>パドック、仕切り柵等の構造物はなるべく自然な景観となるように配慮する。</li> </ul>
その他留意する事項	<p>(都市計画上の制限・接道状況・敷地内高低差・道路との高低差など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>王子公園再整備の全体計画と調和の取れた設計内容とする。</li> <li>適正施設ガイドライン（公益社団法人日本動物園水族館協会）に適合した計画とすること。</li> <li>人に危害を加える恐れのある可能性のある「特定動物」（キリン、カバ等）に該当する獣舎については、「動物の愛護及び管理に関する法律」に規定する構造設備基準を満たす必要がある。</li> <li>計画地は南側が低く北側が高い傾斜地であることを踏まえ、ユニバーサルデザインに配慮した造成計画とする。</li> <li>利用者がいる中での工事であるので、仮設計画には十分留意すること。</li> <li>動物は環境の変化にストレスを感じるので、工期短縮、防音対策を考慮すること。</li> <li>動物園の休園日は毎週水曜日（春・夏休み等は水曜日も開園）。</li> <li>動物園の開園時間以外の場内の車両通行は原則禁止。</li> </ul>

### 3 敷地の状況

項目		内容				備考
敷地	接道状況	道路巾員	東	西	南	北
		公道・私道の種別		公道	公道	
		敷地との高低差		接道	接道	
	境界石標	○無 ◉有 (箇所)				
	障害物					
	地上	○無 ◉有 (家屋 (立木 (基礎 (井戸 (その他	) 本)			現況平面図参照
	地中(埋設管等)	○無 ◉有 (□旧建築物の地中構造体 □電力線路 □通信線路 □給水管 □排水管 □ガス管 □消火管 □ )				その他設計時に調査を行うこと ※R6年度王子プール解体予定
	上空(高圧電線等)	○無 ◉有 (□電力線路 □通信線路)				
	高低差	○無 ◉有 敷地内 (最大 9m) □施設 道路との差 (最大 m)				
	敷地の前歴、盛土等	□池 □沼 □河川 □その他() □盛土 ・盛土の経過年数 ( ) 年 □施設 ・前施設の名称 (王子プール、太陽の動物舎)				
都 市 計 画	土質調査資料	・当敷地 ◉無 ○有 ・周辺 ◉無 ○有				
	構内既存建物資料	建築基準法申請図書 ○無 ◉有				
	斜線制限(道路、隣地)	□道路斜線 □隣地斜線 □北側斜線				
	高さ制限	○無 ◉有 ( 31 ) m				第5種高度地区
	壁面後退	◉無 ○有 ( ) m				
	日影制限	・敷地境界から10m超 ( 2.5 ) 時間 ・敷地境界から5m超10m以内 ( 4 ) 時間				
建築・設備に関する条例等		□ 神戸市開発事業の手続き及び基準に関する条例 □ 神戸市民の住環境等をまもりそだてる条例 □ 神戸市建築物の安全性の確保等に関する条例 □ 神戸市建築物等における環境配慮の推進に関する条例 □ 神戸市建築物に附置すべき駐車施設に関する条例 □ 神戸市自転車等の放置の防止及び自転車駐車場の整備に関する条例 □ 神戸市都市景観条例 □ 神戸市火災予防条例 □ 兵庫県福祉のまちづくり条例 □ 兵庫県環境の保全と創造に関する条例 □				関連する条例すべてを掲載しているものではありません。

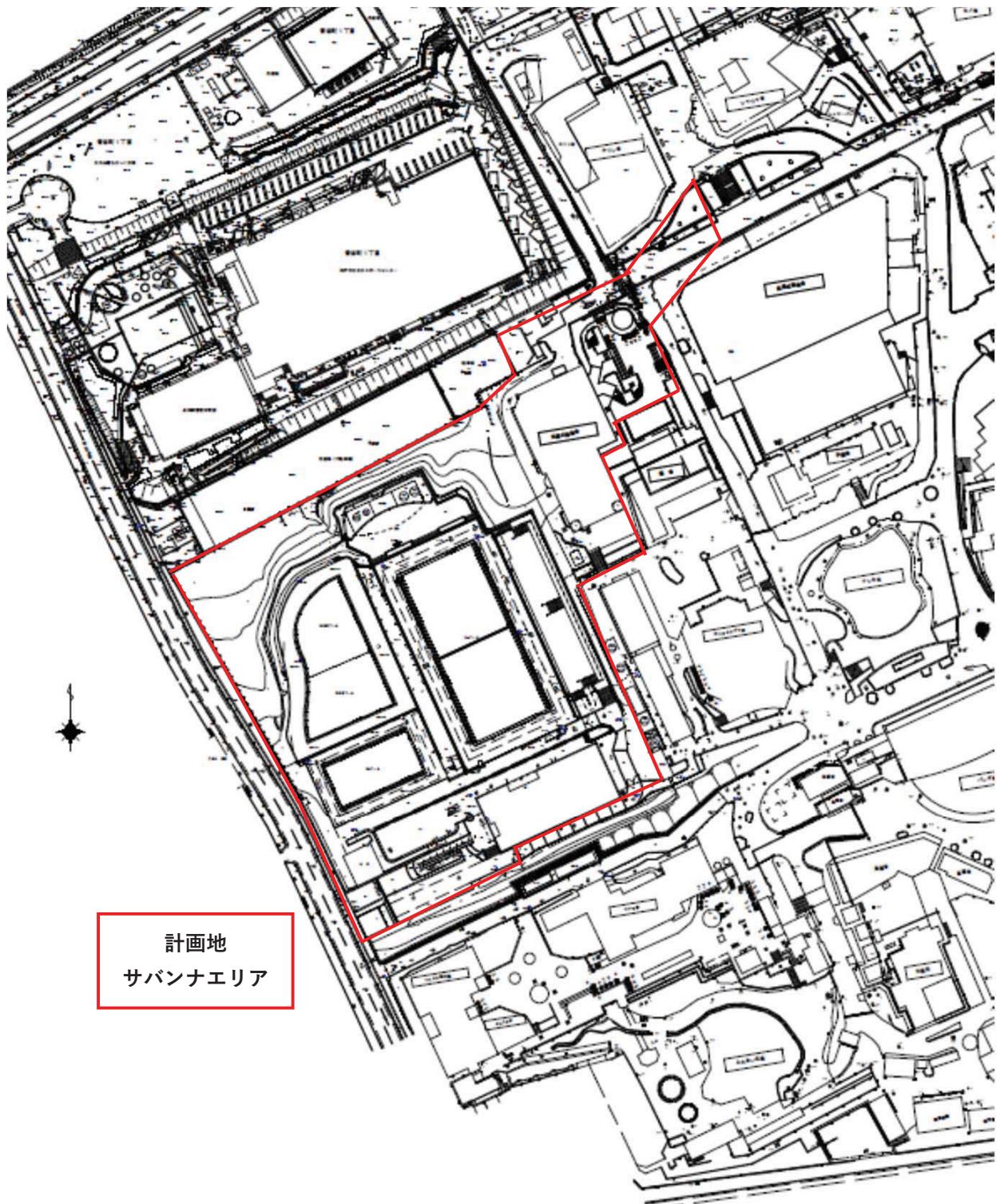
#### 4 付近見取り図

##### ■計画地 付近見取り図



## 5 敷地現況図

### ■計画敷地状況図



※今回の整備エリアは赤枠内（園内の一部及び現王子プール）を予定。

## 6 敷地周辺現況写真

①



②



③



④



⑤



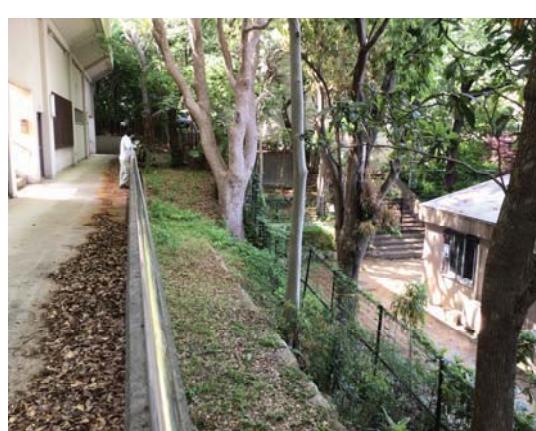
⑥



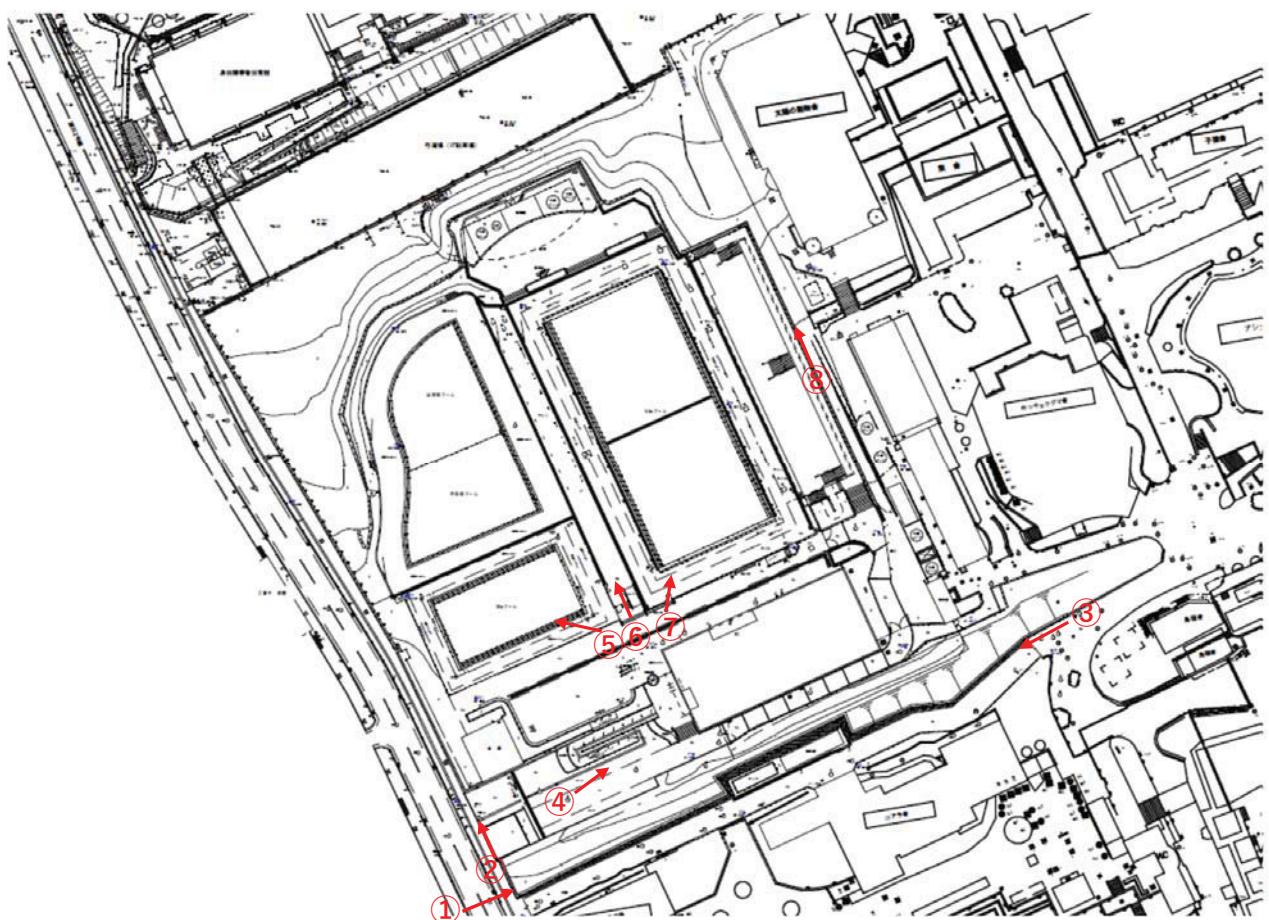
⑦



⑧



■写真 方向



※今回の整備エリアは赤枠内（園内的一部分及び現王子プール）を予定。